

# 9月21日・敬老の日 各地区で長寿を 祝う敬老会開く

9月21日の敬老の日に合わせて、町では今年度100歳と88歳を迎える方に、祝い金などを贈呈し長寿を祝福しました。今年度100歳を迎えたのは2人で、88歳は53人。8月現在で65歳以上の人口に占める割合が32%になっています。

地域でも、各自治会が中心となって、敬老の会が催され、食事しながら、お互いの近況や昔話に花を咲かせていました。

100歳  
おめでとう

今年度の後期に100歳を迎えるのは、山家タマさん(蛇1区)で、明治42年9月20生まれ。

9月14日には、吉田副町長が伊達市の聖ヶ丘病院を訪れ、祝い金と花束を手渡し、親族らとつしよに100歳の長寿を

祝いました。



吉田副町長から祝福を受ける山家タマさん

## 手づくり料理でおもてなし 美沢西・東合同敬老会

洞爺地区で長く続いている美沢西・東合同敬老会が、70歳以上のお年寄り24人が参加して、洞爺総合センターで開かれました。

約50年前には、当時の農協婦人部が中心となって各地区で行われていた敬老会ですが、現在まで続いているのは、同敬老会を残すのみとなりました。

現在は、両自治会の女性部の皆さんが、協同で手づくりの料理をもてなし、長寿を祝う会となっています。

両自治会を代表して杉上もと子さんが「おめでとうございます。真心をこめた料理などをゆっくり楽しんでください」と挨拶。

お年寄り達は、振舞われた赤飯や茶碗蒸しなどの手づくり料理を満喫しながら、お互いの近況を語り合いました。

余興では、スタンドバイミーをバックにどじょうすくいを踊るという画期的な「どじょうすくい」の親子共演に、笑いの声が会場内を渦巻いていました。



元気に乾杯するお年寄りら

## 清水区 自治会主催で敬老会

蛇田地区においても、各地域で長寿を祝う会が催されました。

清水区では、自治会主催の平成21年度敬老会(長寿まつり)が、9月21日清水集会所で催されました。

今年度の同敬老会の該当者は、最高齢の98歳をはじめに48人で、当日は、該当者のお年寄りと役員ら関係者合わせて約50人が集い、長寿を祝いました。

同会の冒頭で、6人が対象となった今年80歳の傘寿の方に、自治会から記念品が贈呈されました。

お年寄りのみなさんは、美味しい料理や「運だめしくじ引き」などで、楽しい敬老の日を過ごしました。



話もはずむ敬老会

## ねんりんピック・ウォークラリー 長崎恵子さん、青木佐智子さん3位入賞

9月5日から8日までの4日間「ねんりんピック北海道札幌2009」が北海道の各地を舞台に繰り広げられ、ウォークラリー交流大会で、長崎恵子(青2区)さんと青木佐智子さん(入3区)の2人が入ったチーム「洞龍くん」が3位を獲得しました。

ねんりんピックは、60歳以上の高齢者を中心とするスポーツ、文化、福祉の総合的な祭典。

同ラリーには、36チーム(北海道3チーム)がエントリーし、コマ



3位入賞の青木さん(左)と長崎さん

図を頼りに約5の道程を、8カ所でのチェックポイントの問題と設定時間にどれだけ近く歩くかを競うゲームです。

3位入賞を果たした2人は「年齢を気にすることなく、これからも元気にいろいろなことにチャレンジしていきたい」と喜びを語ってくれました。